

科目名	相談援助演習Ⅱ【介護福祉コース】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	加 藤 稔 子						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必修（介護）
授業の概要 及びねらい	本演習では、相談援助に必要な専門的価値・倫理（自己決定・守秘義務）について事例を通して説明する。また、資料等を用いながら身近な地域にある福祉ニーズについて理解させ、そこに関わっていく能力を養うための演習を課す。人々の生活と地域社会、社会資源の関連を考えるためのグループ討議や資料の作成を行う。						
授 業 の 到達目標	1) 相談援助に必要な専門的価値・倫理について理解できる 2) 書籍や新聞等の資料から、現代社会と福祉ニーズの関係について主体的に考える 3) 福祉ニーズをもつ人々への関わり方について理解できる 4) グループの中で他者の意見を尊重して聞くことができる 5) グループの中で自分の意見を述べるができる 6) 事例や地域での実践活動報告等を通して、相談援助の実際を感じ取る 7) 書籍やIT等を利用して適切な資料を収集できる 8) 収集した資料を適切な形へ自分なりにまとめることができる						
学習方法	グループ討議やロールプレイを中心とした演習方式で行う。						
テキスト及び参考書等	特に指定しない。必要に応じ資料等を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○	◎		30	
授業態度	◎		○	○		20	
受講者の発表							
授業への参加度		○	◎	○		50	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	社会福祉実践と相談援助；ソーシャルワーカーの仕事						
第 3 週	事例を通して学ぶ専門的価値・倫理；自己決定						
第 4 週	事例を通して学ぶ専門的価値・倫理；守秘義務						
第 5 週	資料等から「現代社会と福祉ニーズ」について考える						
第 6 週	現代社会における福祉ニーズへ関与（グループ討議）						
第 7 週	援助的コミュニケーション；共感的態度						
第 8 週	援助的コミュニケーション；チームにおけるコミュニケーション						
第 9 週	地域における相談援助の実際；権利擁護の実践活動報告（全体）						
第 10 週	地域における相談援助の実際（グループ討議）						
第 11 週	地域の社会資源と社会福祉制度について考える						
第 12 週	社会資源について調べる						
第 13 週	社会資源の利用および活用方法（グループ討議）						
第 14 週	社会資源に関する報告書づくり						
第 15 週	まとめ 社会資源に関するプレゼンテーション						
第 16 週							
備 考	【授業外の学習】 受講前には「相談援助の理論と方法」等の講義で学習した範囲を復習しておくこと 【その他】 ・出席回数が開講回数の2/3に満たない場合は、評価対象としない						